

数理解析研究所講究録653

作用素論とその周辺

禁帯出期間

63. 6. 8 - 6. 15

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1988年4月

作用素論とその周辺
研究集会報告集

京都大学

89011829

図書

数理解析研究所

1988年 1月11日～ 1月14日

研究代表者 安藤 毅 (Tsuyoshi Ando)

目 次

1. Generalized logarithmic operator means	1
富山大・理 久保 文夫 (Fumio Kubo)	
2. Indecomposable positive maps in matrix algebras	27
東北薬大 棚橋 浩太郎 (Kôtarô Tanahashi)	
都立大・理 富山 淳 (Jun Tomiyama)	
3. Quotients of bounded operators and Lebesgue decomposition	42
富山大・教育 泉野 佐一 (Saichi Izumino)	
4. 線形ダイナミカルシステムのモデル, 微分作用素, 可制御性	55
京大・工 山本 裕 (Yutaka Yamamoto)	
5. 作用素論の情報理論への応用	66
山口大・理 柳 研二郎 (Kenjiro Yanagi)	
6. 古典的補間理論の回路, 制御への応用	87
阪大・工 木村 英紀 (Hidenori Kimura)	
7. 動的計画と不等式について	109
九大・経 岩本 誠一 (Seiichi Iwamoto)	
8. 線形不等式と不動点定理	130
東工大・理 高橋 渉 (Wataru Takahashi)	

9. PerturbationのNorm不等式	153
九大・教養	幸崎 秀樹 (Hideki Kosaki)
10. 回路結合と作用素不等式	169
北大・応電研	安藤 毅 (Tsuyoshi Ando)
11. 作用素単調関数に関する不等式	178
阪教大	藤井 淳一 (Jun Ichi Fujii)
阪教大	藤井 正俊 (Masatoshi Fujii)
12. 或る意味での順序を保存する作用素不等式について	185
弘前大・理	古田 孝之 (Takayuki Furuta)